

## 3-2 一宮地域

### 1. 地域の概況と課題

#### (1) 地域の概況

##### (位置と交通条件)

本地域は町の北西部に位置し、北側が長生村、西側が陸沢町、南西側がいすみ市、南東側が東浪見地域に接しています。

地域のほぼ中央部を南北方向にJR外房線が通っており、JR上総一ノ宮駅があります。

本地域を通る幹線道路としては、JR外房線に沿って北西側の茂原市方面と南側の東浪見地域の中心部及びいすみ市方面を結ぶ国道128号があり、地域の骨格を構成しています。

現在、首都圏中央連絡自動車道（圏央道）茂原長南ICと本町を結ぶ茂原一宮道路（長生グリーンライン）の整備が計画されており、広域交通条件の向上と国道128号のバイパス機能を担う路線としても期待され、その整備促進が課題となっています。

その他の幹線道路としては、本地域と東側の海岸地域とを東西方向に結ぶ県道一宮停車場線と、本地域と西側の陸沢町方面とを東西方向に結ぶ県道南総一宮線、国道128号と北東側の長生村方面を結ぶ県道一宮片貝線があり、それらを主要な町道が補完しています。

また、市街地内とその周辺には、幹線道路として上記の路線のほか、都市計画道路が計画されていますが、整備はかなり遅れしており、長期未着手道路が多く、見直し検討が必要となっています。さらに、駅周辺においては、駅前広場の整備の遅れと踏切部の歩行者等の安全性が脅かされている状況であり、早急な改善が望されます。

県道一宮停車場線沿いや一宮川沿い及び丘陵部の自然公園区域内には、県自転車道や遊歩道、関東ふれあいの道等が通り、歩行者・自転車系のネットワークが形成されていますが、市街地内を含めたネットワークの充実と魅力向上が課題となっています。

公共交通としては、JR上総一ノ宮駅を中心として一宮海岸間、JR茂原駅間及び大多喜車庫間のそれぞれに、小湊鉄道による路線バスが2~4往復/日運行され、それらを補完するように高齢者と身障者を対象とした乗合タクシーが運行されていますが、その充実が課題となっています。



国道128号沿いの商業地

### (土地利用等)

本地域は、JR外房線の上総一ノ宮駅の周辺に形成された市街地（用途地域）を中心とした地域です。

JR上総一ノ宮駅周辺の市街地は、町の中心市街地であり、役場、中央公民館、保健センター等の公共公益施設の集積がみられます、少子高齢化に対応した日常生活サービス機能や子育て支援機能等の充実が課題となっています。

JR上総一ノ宮駅西側から国道128号沿道に至る区域は近隣商業地域に指定され、国道128号沿道を中心に商業施設が集積し商業地が形成されていますが、国道128号は交通量が非常に多い上に歩道が狭く、安心して買物ができる環境になく、駐車場の整備も遅れています。商業地の振興が課題となっています。

一方、JR上総一ノ宮駅東側については、県道一宮停車場線の沿道を中心に商業業務施設の立地が徐々に進んでいるため、周辺環境に調和した商業系土地利用の誘導を進める必要があります。

住宅地は、用途区域内の土地区画整理事業による面的整備地区を中心に形成されていますが、県道南総一宮線沿いや一宮川南側の用途地域外でも住宅地の分布がみられ、良好な居住環境の形成が課題となっています。

一方、本給地区の西側地域は用途地域内ですが、都市的未利用地のままとなっており、その活用が課題となっています。

南西部の丘陵部は、県立九十九里自然公園に指定され、豊かな自然と景観を有し町民憩いの森や洞庭湖等のレクリエーション施設や高藤山城址等の歴史的施設が分布していますが、それらの魅力向上と維持管理の充実による活用が課題です。

それらと市街地部を除く地域のほとんどは、農地と集落地となっています。

地域の北側には、西から東に一宮川がゆったりと流れ、潤いのある景観を呈しており、町及び地域を特徴づけるものとなっていますが、津波対策としての防潮堤の整備と景観の維持の兼ね合いで課題となっています。

公園は、面的整備地区を中心に街区公園等身近な公園整備が進んでいますが、規模の大きな公園はなく、整備が課題となっています。

汚水処理は、合併浄化槽と農業集落排水処理施設等により処理されていますが、それらの普及が課題です。

### (主な地域資源)

地域資源の主なものを挙げると、歴史資源として古くから歴史のある玉前神社等の寺社や一宮城跡（城山公園）、高藤山城址があり、自然資源としては、潤いのある景観を呈している一宮川と田園のほか、桜並木が美しい洞庭湖や城山公園、舞台公園、緑豊かな町民憩いの森、眺望の良い望洋公園等があります。

そのうち、洞庭湖等のため池から水田に水を引くための市兵衛掘は、江戸時代末期以降



人工的に造られた美しいため池・洞庭湖

の先人達の人力により苦労して造られ、ため池は現在もなお町の基幹産業である農業を支えている産業・文化資源であります。

また、景観資源としては、一宮川のほか、城山公園、市街地の全貌と田園や太平洋を一望できる望洋公園、日本の原風景を感じさせる田園・集落地景観があげられます。

さらに、文化資源としては、文化活動の拠点の一つとなっている創作の里や、9月に玉前神社で開催される上総十二社祭り（通称「はだか祭り」）と、上総国一宮まつりなどのイベントがあります。

その他では、散策を楽しめる県道長生茂原自転車道が一宮川と県道一宮停車場線に沿って通り、丘陵部にも関東ふれあいの道が南東側から西側の睦沢町方向に通っています。

また、ガラス温室団地等で広く栽培されているトマトやメロンのほか、主に西側で栽培されている梨等の特産品があります。



望洋公園からの眺望



施設栽培の特色である大規模なガラス温室団地



県内有数のトマトの産地



長生「ながいき」メロン

